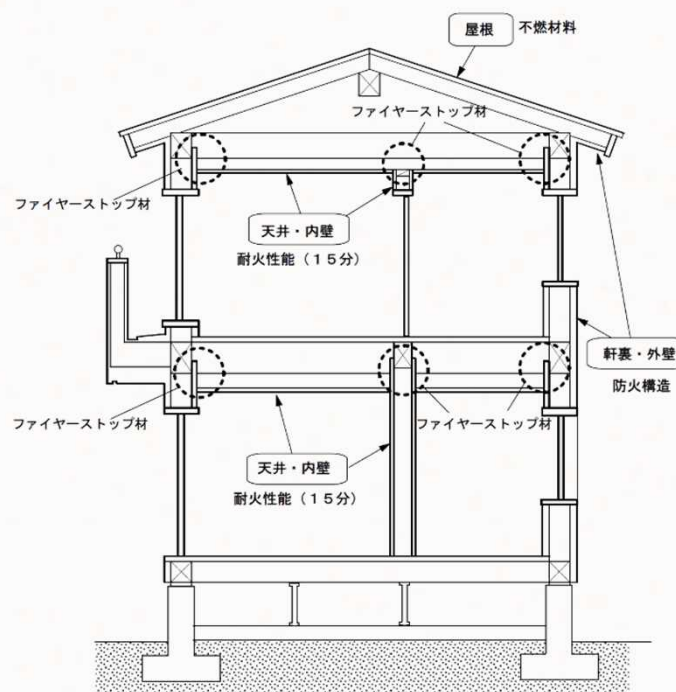


省令準耐火構造の仕様の概要 (一戸建て木造軸組工法)



2024年 2 月



住まいのしあわせを、ともにつくる。
住宅金融支援機構

省令準耐火構造の仕様について

 本資料では省令準耐火構造（一戸建て木造軸組工法）の仕様の概要を記載しています。全ての仕様を記載していませんのでご注意ください。

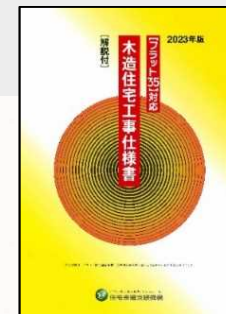
■ 省令準耐火構造の仕様基準

・ 機構の定める省令準耐火構造の仕様



機構ホームページより無料でダウンロード可能

<https://www.flat35.com/files/300190838.pdf>



【フラット35】対応
木造住宅工事仕様書（解説付）

・ 【フラット35】対応 住宅工事仕様書（解説付）

編著：住宅金融支援機構

発行：（株）井上書院

価格：1,760円（税込）

〈図書販売窓口〉

・取扱いのある書店（オンライン書店でも購入可能）

・適合証明検査機関（一部を除く）

・（株）井上書院ホームページ 等



（株）井上書院ホームページ
<https://www.inoueshoin.co.jp/>



■ その他の参考資料

・ 省令準耐火構造Q&A

省令準耐火構造に関して、よくある問合せをまとめたものです。



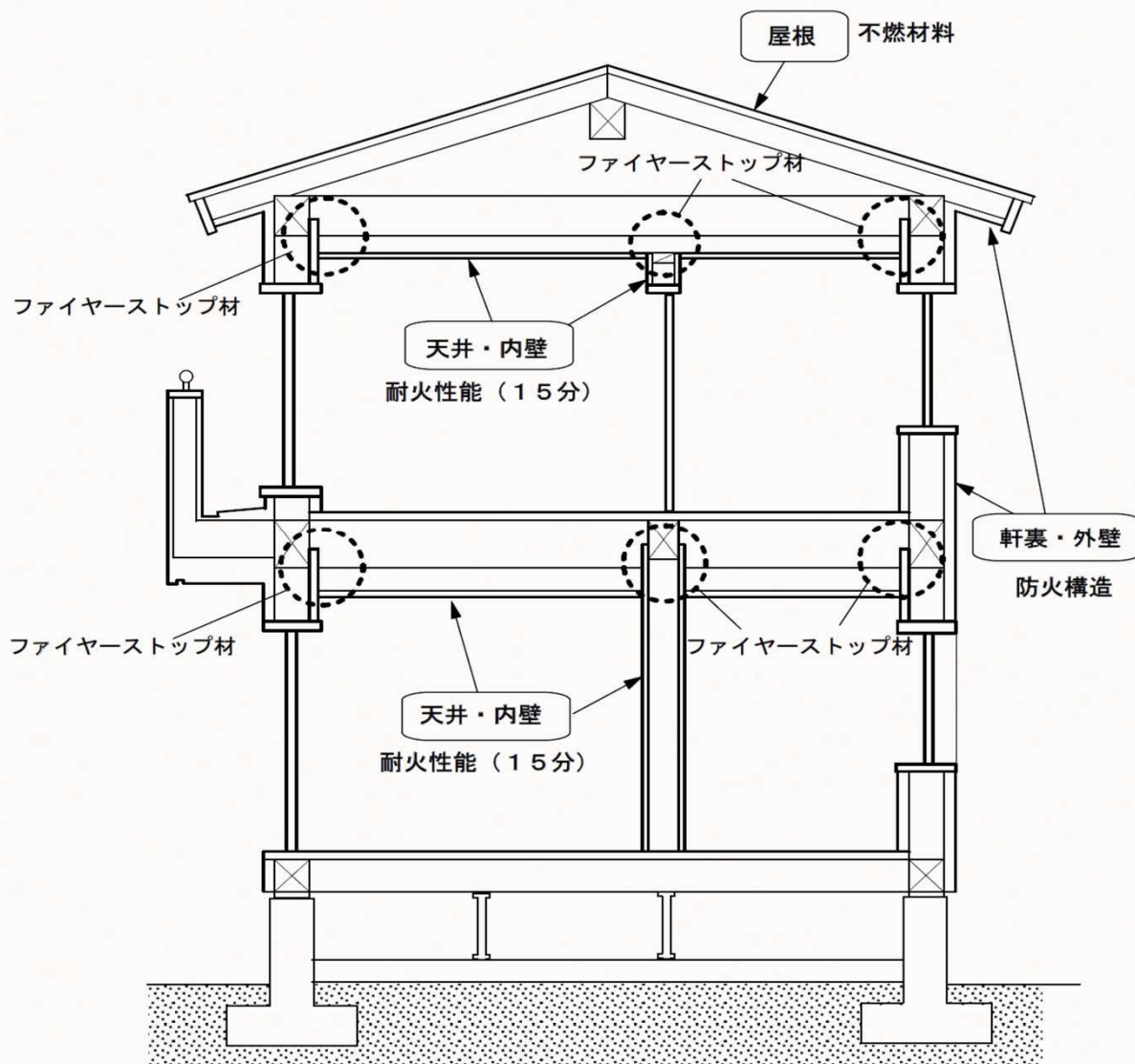
機構ホームページより無料でダウンロード可能

<https://www.flat35.com/files/100504017.pdf>



省令準耐火構造の特徴

省令準耐火構造の住宅とは



特徴1

外部からの延焼防止

- ①外壁及び軒裏・・・防火構造
- ②屋根・・・不燃材料

特徴2

各室防火

- ③天井・壁にせっこうボード

特徴3

他室への延焼遅延

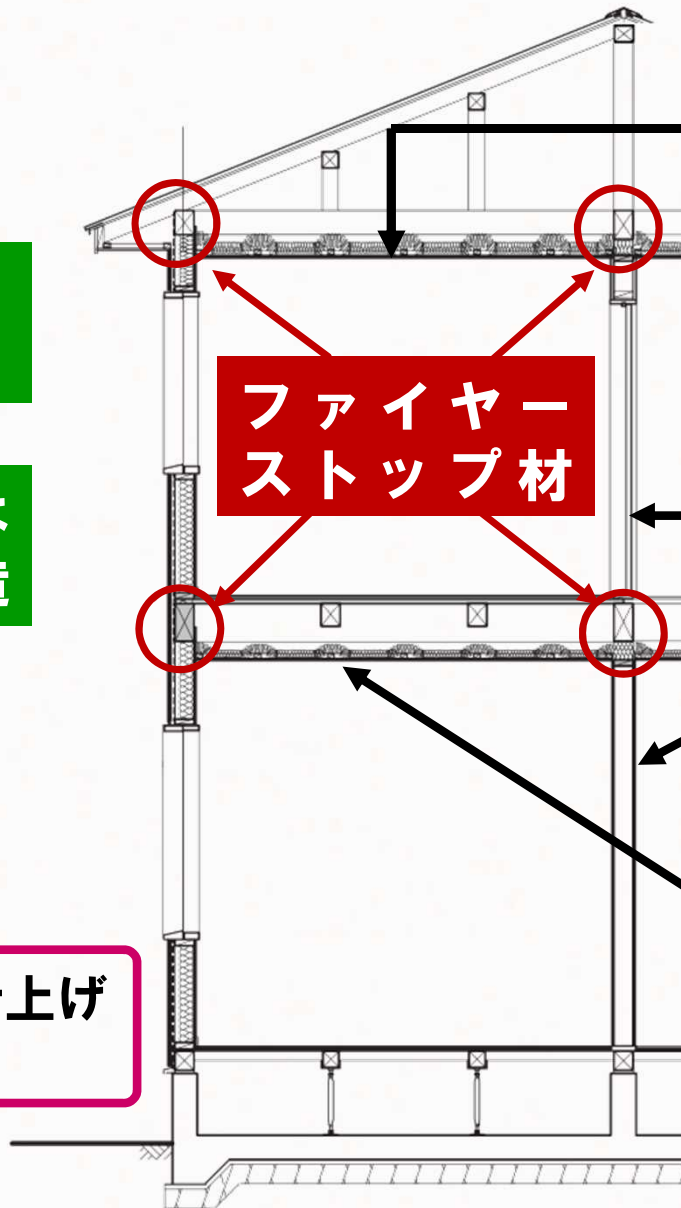
- ④ファイヤーストップ材

省令準耐火構造の仕様の概要

屋根は
不燃材料で葺く

外壁・軒裏は
防火構造

⚠ 開口部、床仕上げ
の規定なし



2階の天井
(上階に床がない部分の天井):

下地材料等

- ・せっこうボード㊦12.5mm
- ・せっこうボード㊦9.5mm×2 等

界壁以外の内壁:

下地材料等

- ・せっこうボード㊦12.5mm 等

1階の天井
(上階に床がある部分の天井):

下地材料等

- ・強化せっこうボード㊦12.5mm+グラスウール
- ・せっこうボード㊦9.5mm×2 等

壁の仕様

内壁〔外壁の室内側〕

2023年版木造住宅工事仕様書
(解説付) の該当項目をご案内しています。
※設計図面添付用の場合は項目番号からご確認ください。

18.3.1
(P290)

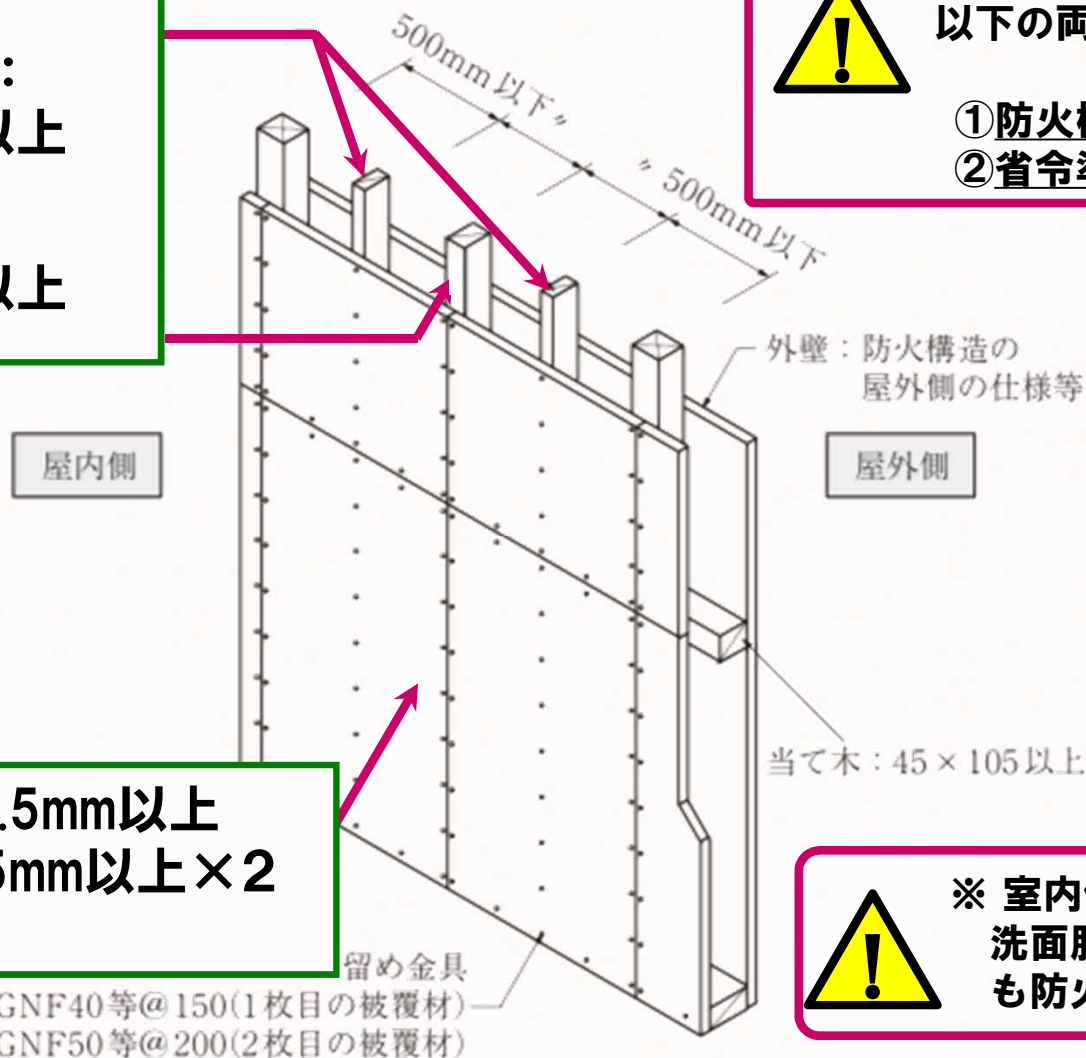
間柱(目地部分以外):
30mm×105mm以上

間柱(目地部分):
45mm×105mm以上



※ 外壁の室内側の仕様を決定する際は、
以下の両方を満足する必要があります。

- ①防火構造の外壁の屋内側の仕様
- ②省令準耐火の内壁(当ページ)の仕様



- ①せっこうボード㊦12.5mm以上
- ②せっこうボード㊦9.5mm以上×2
- ③防火構造



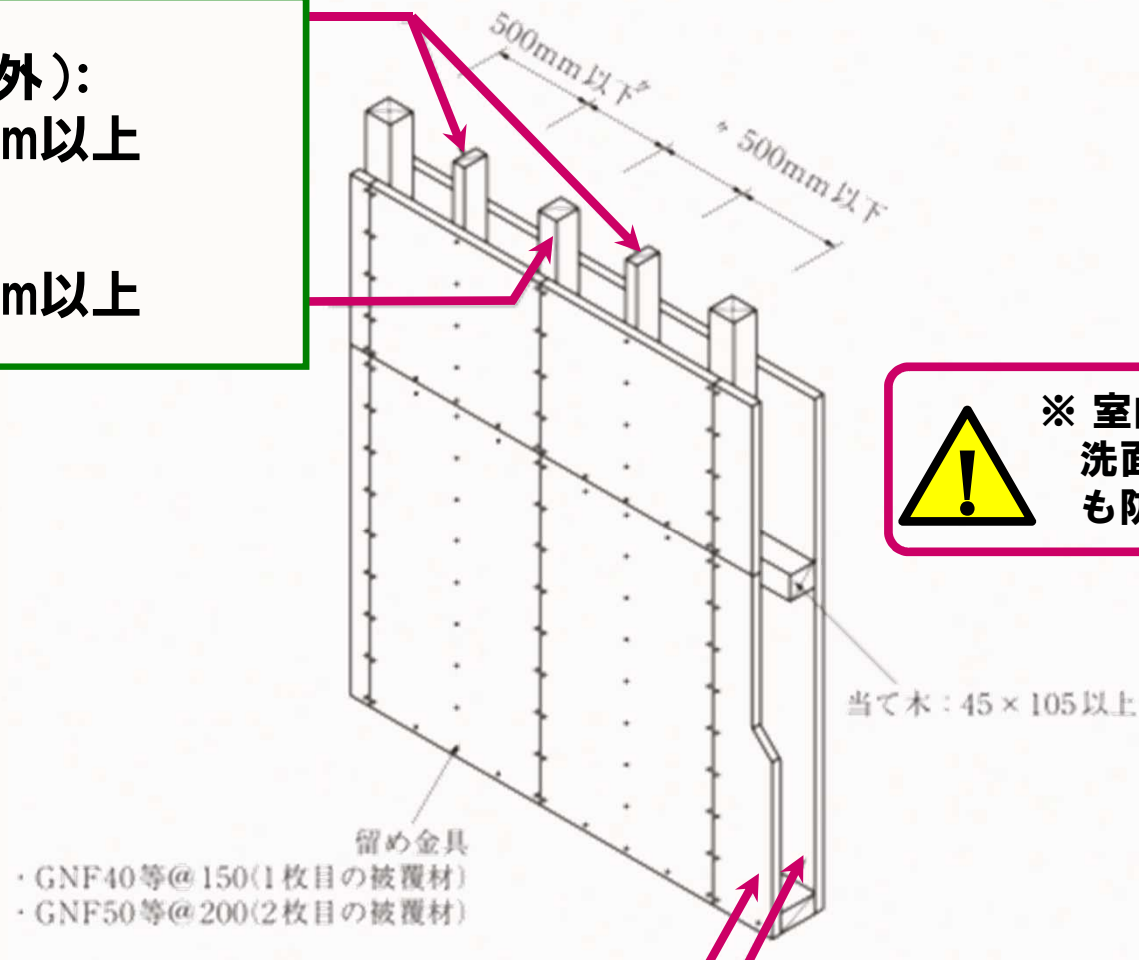
※ 室内側の用途が浴室(UB含む)、
洗面脱衣室、便所、廊下等の場合
も防火被覆が必要です。

内壁〔界壁以外の間仕切壁〕

18.3.2
(P290)

間柱(目地部分以外):
30mm×105mm以上

間柱(目地部分):
45mm×105mm以上



※ 室内側の用途が浴室（UB含む）、洗面脱衣室、便所、廊下等の場合も防火被覆が必要です。

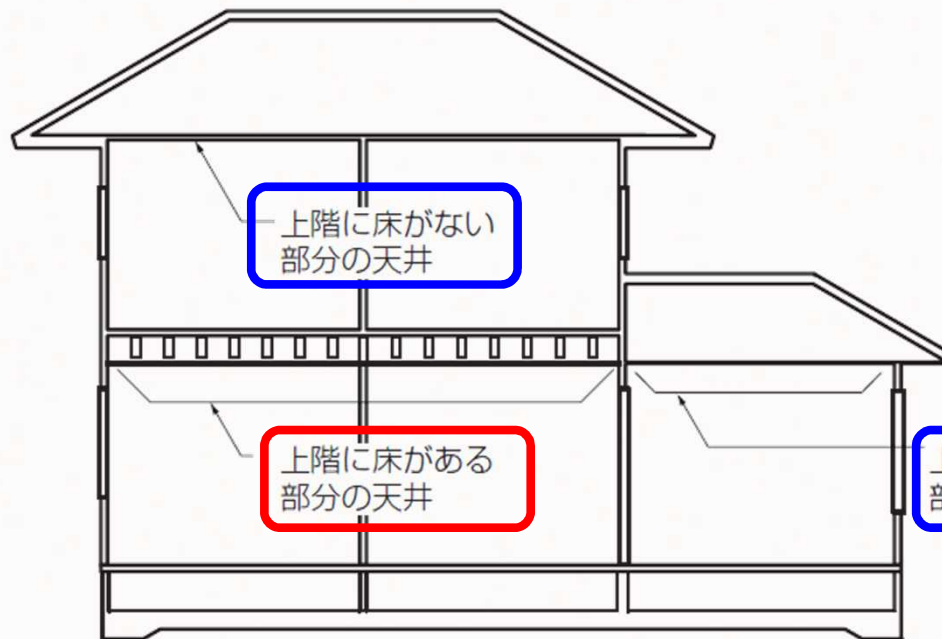
- ① せっこうボード㊦12.5mm以上
- ② せっこうボード㊦9.5mm以上×2
- ③ せっこうラスボード㊦7mm以上+プラスター塗り㊦8mm以上
- ④ 防火構造

壁(界壁以外)に留め付ける金具の種類と長さ・留付け間隔

			留め金具の種類と長さ				留付け間隔	
			GNF くぎ	ステーブル	木ねじ	タッピンねじ	外周部	中間部
壁 (界壁以外)	1枚張り		GNF40以上	40mm以上	28mm以上		150mm以内	
	2枚張り	1枚目	GNF40以上	40mm以上	28mm以上		150mm以内	
		2枚目	GNF50以上	50mm以上	40mm以上		200mm以内	

※この表によらず、国土交通大臣の認定を受けた耐力壁の場合の留め付けに用いるくぎ等及び留め付け方法によることも可能

天井の仕様

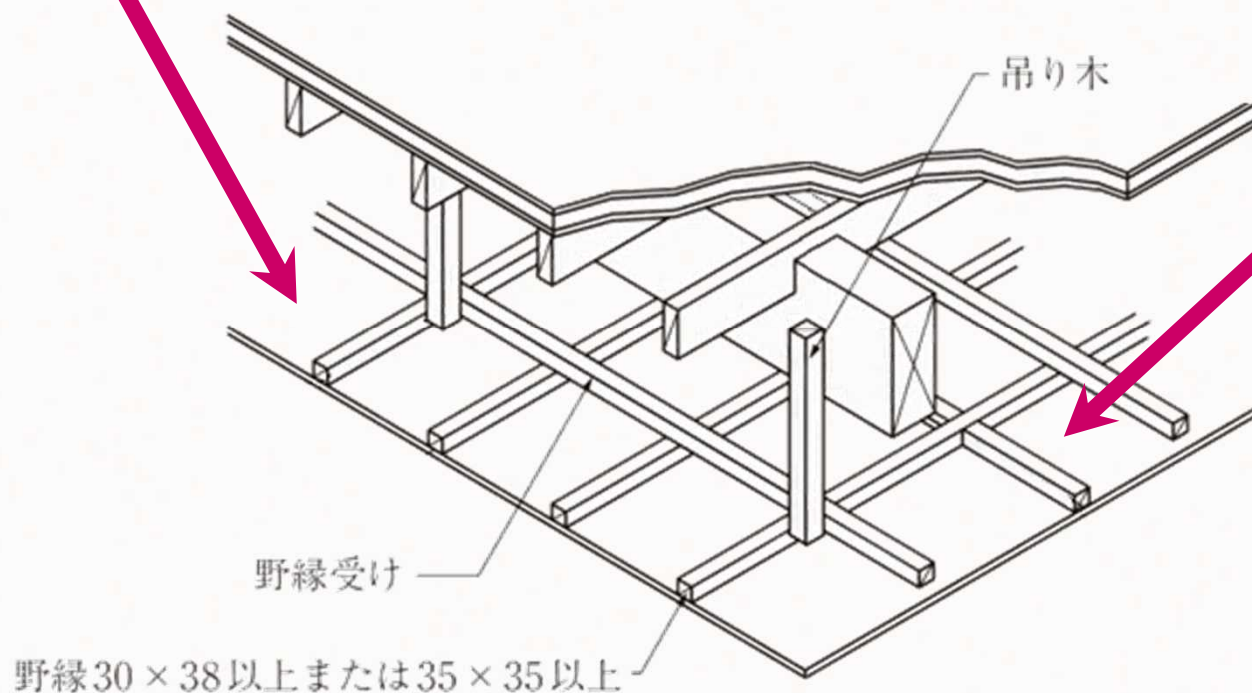


「上階に床がある部分の天井」、
「上階に床がない部分の天井」
により、仕様が異なります。

防火被覆材の目地部：

- ①野縁又は当て木30mm×38mm以上(木材・鋼材)
- ②野縁又は当て木35mm×35mm以上(木材・鋼材)
- ③厚0.4mm×幅90mm以上の鋼板

強化せっこうボード
㊦12.5mm以上



【例】強化せっこうボード1枚張り＋当て木等の場合

上階に床が**ある**部分の天井

18.4.3.3
(P293)

防火被覆	防火被覆裏面
A. 強化せっこうボード㊦12.5mm以上	・ボード目地部分に、野縁又は当て木を設ける ・当て木は30mm×38mmもしくは35mm×35mm以上の木材・鋼材、又は厚0.4mm×幅90mm以上の鋼板
B. 強化せっこうボード㊦12.5mm以上	①ロックウール㊦50mm以上（かさ比重0.024以上） ②グラスウール㊦50mm以上（かさ比重0.024以上） ③グラスウール㊦100mm以上（かさ比重0.01以上）
C. ①せっこうボード㊦9.5mm以上×2 ②せっこうボード㊦9.5mm以上 +RW化粧吸音板㊦9mm以上	1枚目のボードと2枚目のボードの目地は一致させない （やむを得ず一致する場合は所定の断熱材又は当て木を設ける）



※ 浴室（UB含む）、洗面脱衣室、便所、廊下等の天井部分も防火被覆が必要です。

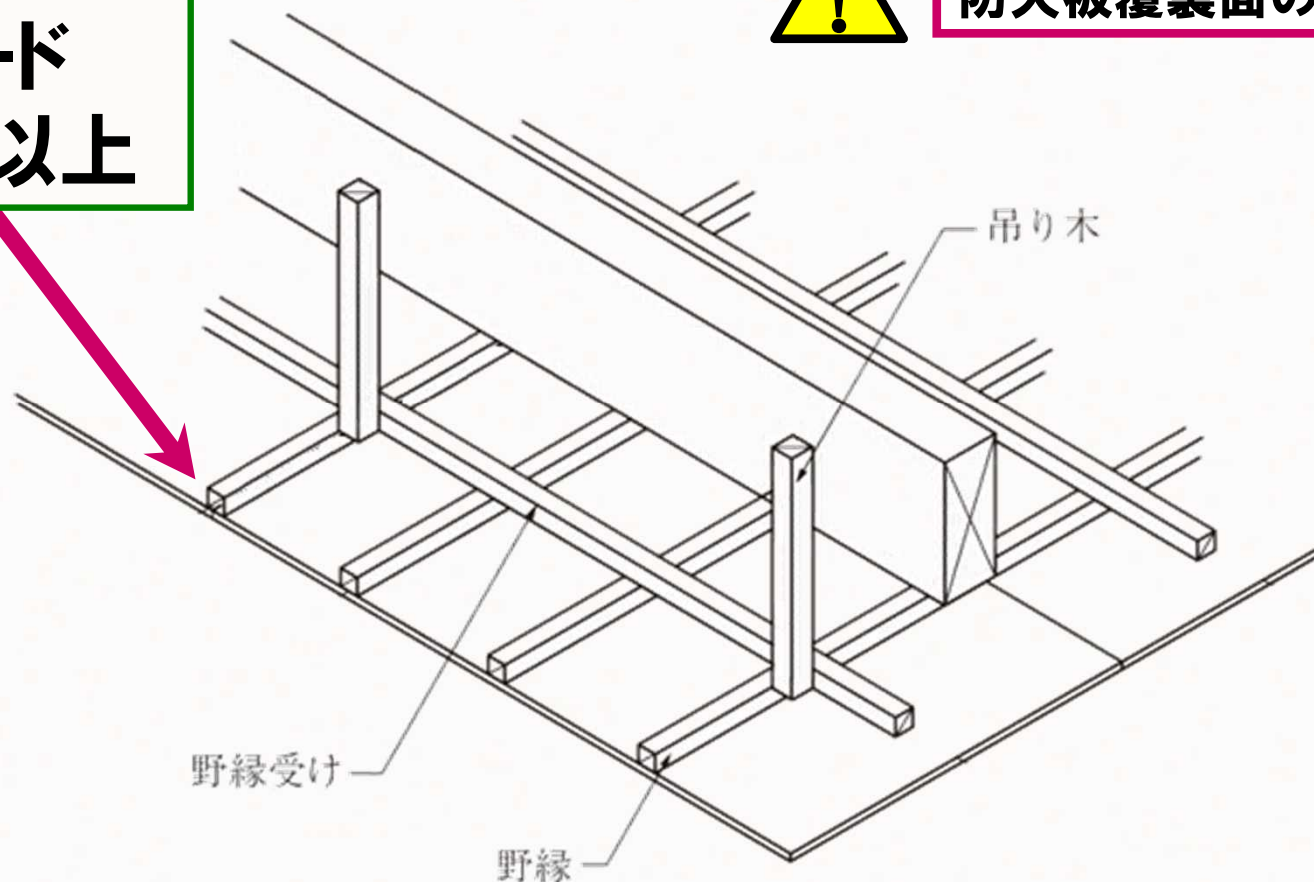
上階に床がない部分の天井

18.4.1
(P292)

せっこうボード
⑦12.5mm以上



防火被覆裏面の目地措置は不要



【例】せっこうボード1枚張り、天井木製下地の場合

防火被覆	防火被覆裏面
A. せっこうボード㊦12.5mm以上	不要
B. ①せっこうボード㊦9.5mm以上×2 ②せっこうボード㊦9.5mm以上 +RW化粧吸音板㊦9mm以上	不要 (1枚目のボードと2枚目のボードの 目地は一致させないことが望ましい)



※ 浴室（UB含む）、洗面脱衣室、便所、廊下等の天井部分も防火被覆が必要です。

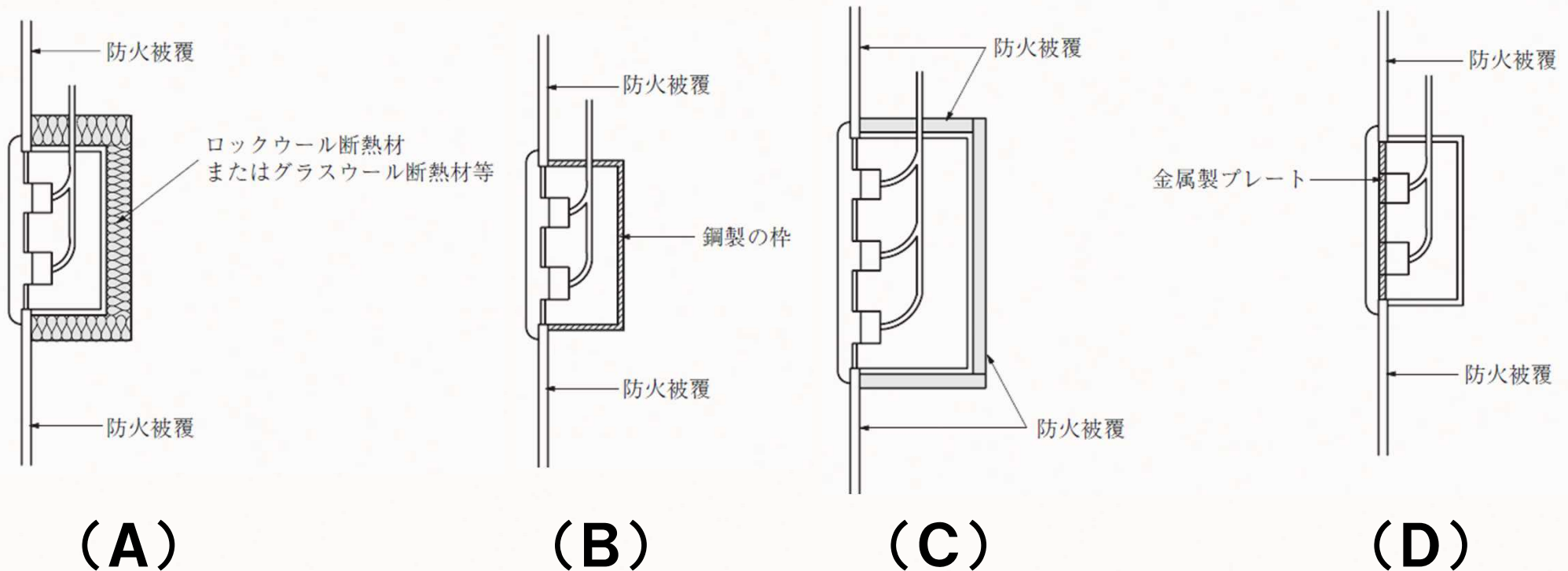
天井(界床以外)に留め付ける金具の種類と長さ・留付け間隔

			留め金具の種類と長さ				留付け間隔	
			GNF くぎ	ステープル	木ねじ	タッピンねじ	外周部	中間部
天井 (界床以外)	1枚張り		GNF40以上	40mm以上	28mm以上		150mm以内	200mm以内
	2枚張り	1枚目	GNF40以上	40mm以上	28mm以上		300mm以内	
		2枚目	GNF50以上	50mm以上	40mm以上		150mm以内	200mm以内

その他の基準

- (1) 防火被覆を貫通して設備機器を取り付ける場合の防火被覆措置
- (2) 床又は天井と壁との取合い部等には火炎が相互に貫通しないようファイヤーストップ材を設置
- (3) 防火被覆を貫通して木材を取り付ける場合の防火被覆措置
- (4) 連続した室の合計が10m²以下の場合にまとめて1室として取扱い可能(火気使用室除く)

(1) 防火被覆を貫通して設備機器を取り付ける場合の 防火被覆措置(コンセントボックスの場合)



(A)

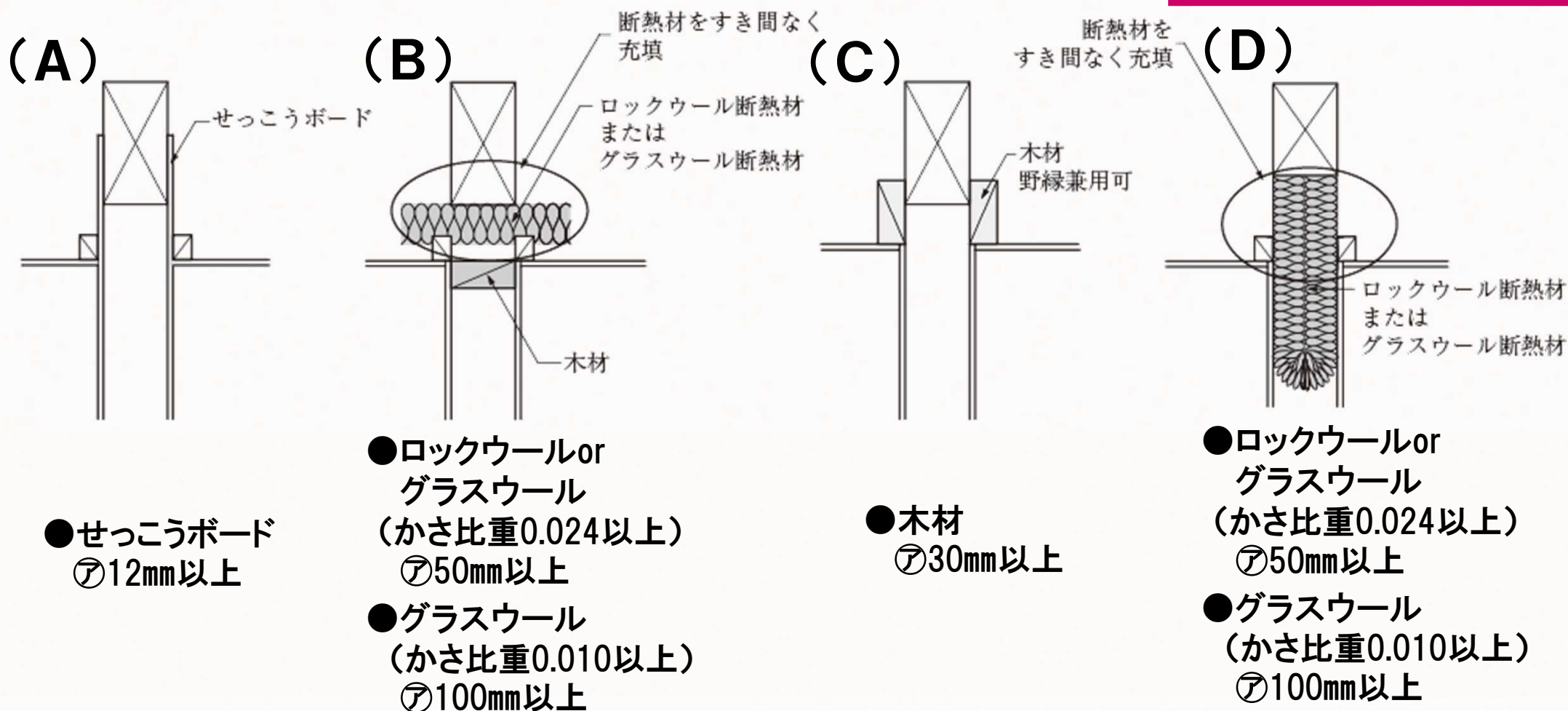
(B)

(C)

(D)

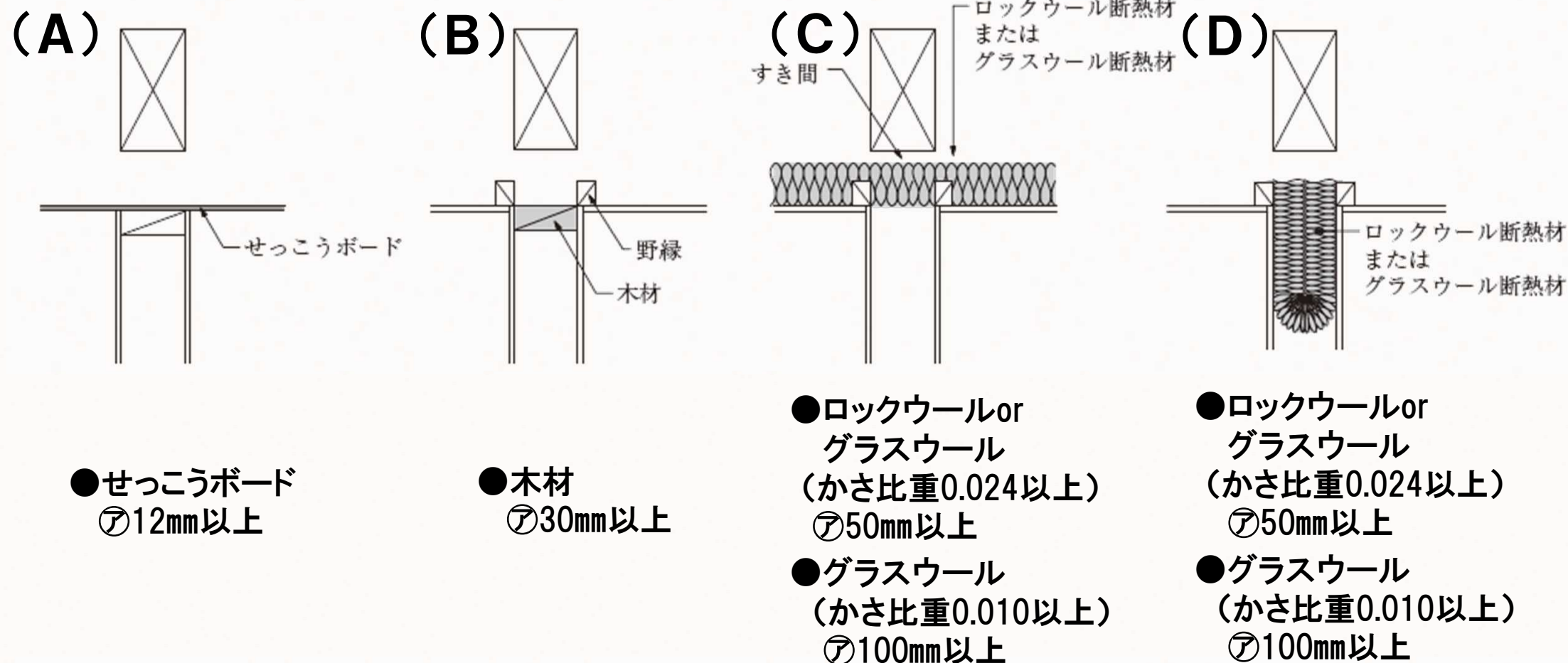
(2) 壁・天井内部の火炎の通り道にファイヤーストップ材を設置(上階に床がある部分の天井)

※ 当て木の表示を省略しています。

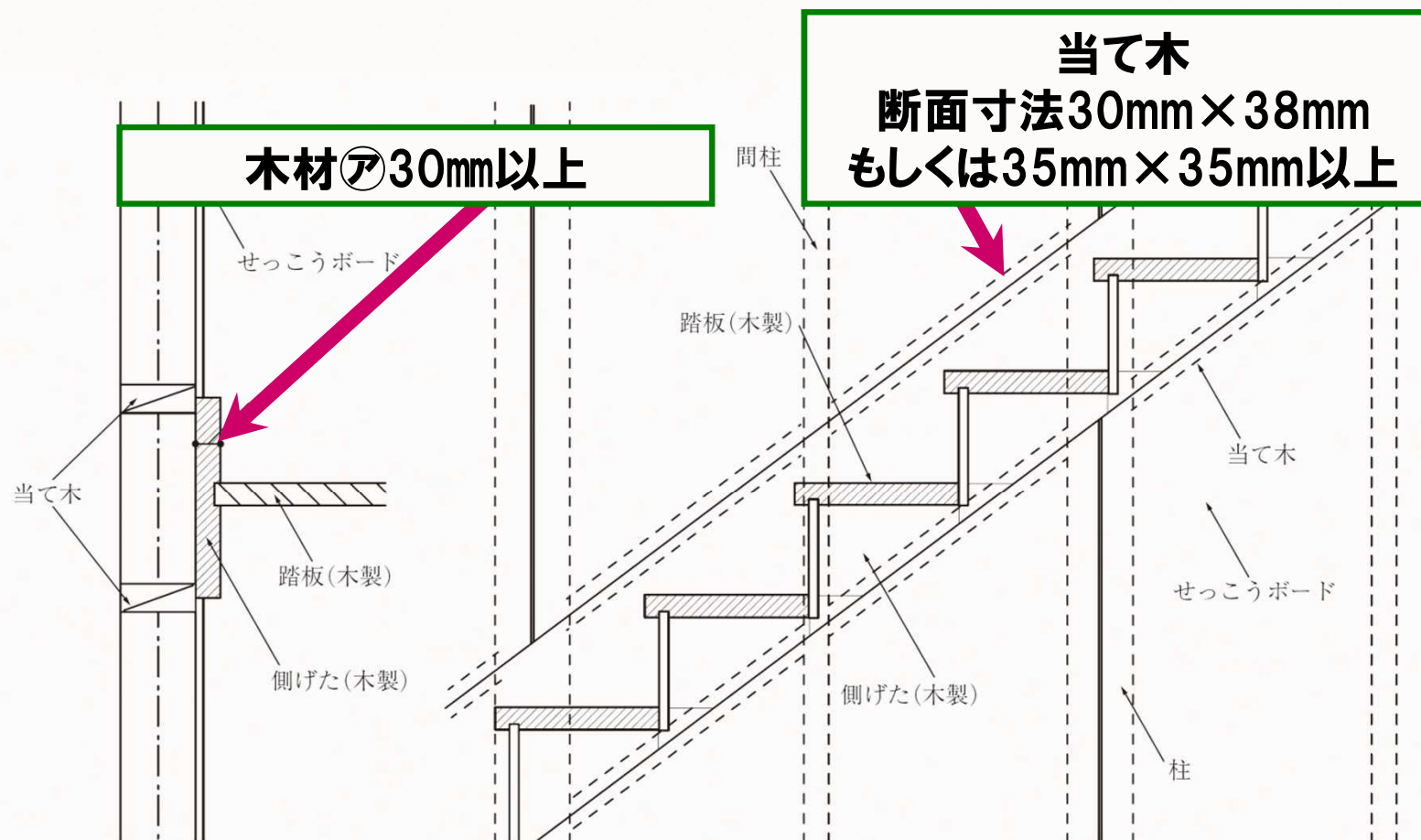


(2) 壁・天井内部の火炎の通り道にファイヤーストップ材を設置(上階に床がない部分の天井)

※ 当て木の表示を省略しています。

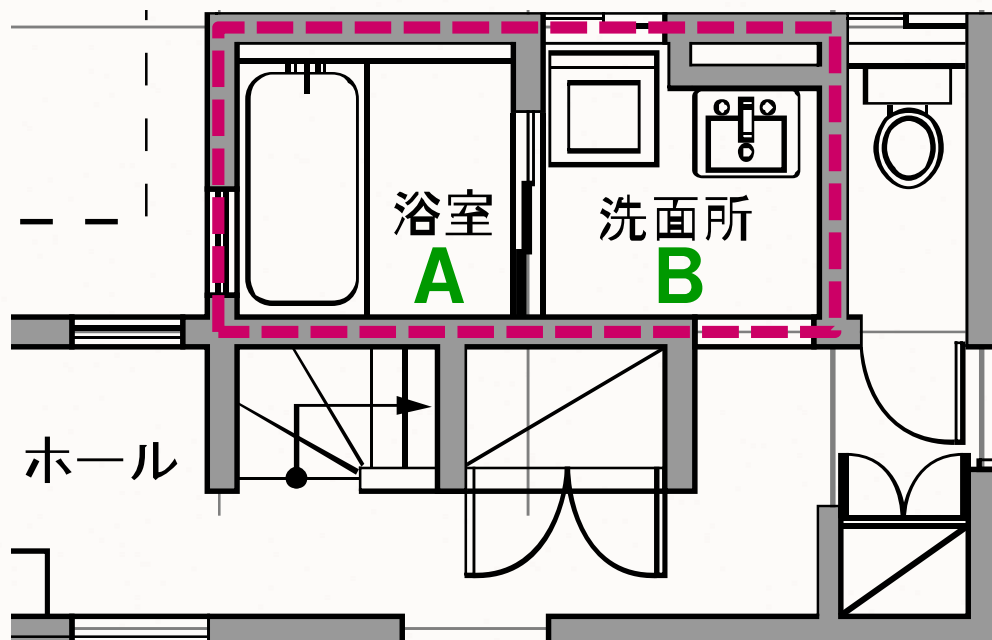


(3) 防火被覆を貫通して木材を取り付ける場合の 防火被覆措置



※踏板が木製であるため、踏板を側げたに取り付ける部分においても、貫通する方向に合計30mm以上の木材と見なせる。

(4) 連続した室の合計が10m²以下の場合に まとめて1室として取扱い可能(火気使用室除く)



$$A + B \leq 10\text{m}^2$$

図の例では、浴室Aと洗面所Bとの間の間仕切壁は防火被覆不要です。但し、浴室Aと洗面所Bの間の天井の防火被覆は天井勝ちとして、連続させます。



住まいのしあわせを、ともにつくる。
住宅金融支援機構